

平成 20 年度 名古屋経済大学高蔵高等学校・中学校 学校評価結果

平成 20 年度指導目標	集団生活を通して自主的で規律ある学習態度と生活態度を育成する。 ① 積極的なホームルーム経営・学級経営によるホームルーム活動・学級活動の充実を図る。 ② 心身両面にわたっての生活指導の徹底を図る。 ③ 自主性・向上心・集中力などを養うことによって、主体的な学習の育成を図る。
--------------	--

評価 A：十分に達成した B：概ね達成した C：課題が残った

平成 20 年度最重点指導目標	年度末評価	平成 21 年度最重点指導目標
精皆勤率を高め、遅刻欠席率を低下させる。	B	(継続)
家庭学習の充実を図る。	C	(継続)
生徒との個人面談の時間を確保する。	C	(継続)
退学者数を減少させる。	B	(継続)
将来目標が設定できるよう啓発する。	B	より高い進路実現を図る。
		教員間の連携を深め、教育力を向上させる。

校務分掌	平成 20 年度 重 点 指 導 目 標	年度末評価
教 務	主体的な学習態度を育成する。	C
	教育に関わる業務内容の効率化を図る。	B
	建学の精神や校訓三則に照らし、“人間教育”の再構築を図る。	B
図 書	生徒・教師が集う憩いの場・学習情報センターとしての図書館づくりを進める。	B
	視聴覚機器を充実し、利用の推進を図る。	B
	人間教育の本質に触れる優れた芸術鑑賞会を実施する。	A
生活指導	自主的で規律正しい生活ができるようにする。	B
	互いに相手の人格を尊重する精神を持つことができるようにする。	B
	心のこもった言葉遣い・挨拶・会釈ができるようにする。	B
	端正な服装・頭髪が主体的にできるようにする。	B
	環境の美化に心がける精神を持つことができるようにする。	B
進路指導	生徒個々の能力・適性・興味・関心などに応じた進路指導の推進を図る。	A
	進路指導の企画・推進と情報や資料の収集・提供・分析により、適切な進路選択ができるよう助言・指導に努める。	A
	自ら学習する姿勢を身につけさせ、進路希望に対応できる学力の向上を図る。	B
校 務	P T A 活動について、保護者を「教育づくりの大切なパートナー」として位置づけ、保護者と連携した教育づくりを推進する。	B
生徒会	学校生活を充実させるとともに、その改善・向上を図る。	B
	生徒の諸活動を支援するため、連絡調整に努める。	B
	学校行事の実施に協力する。	A
	社会参加の活動や他校との交流などを進める。	A